本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO®
617
使用説明書

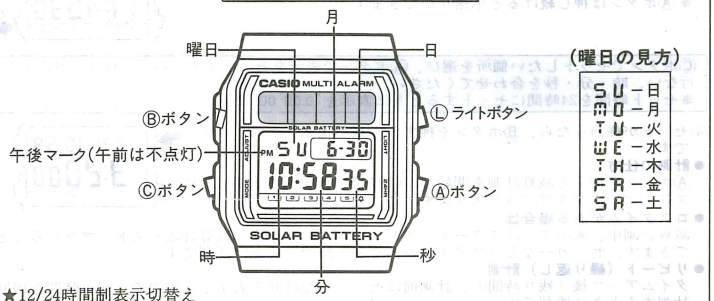
カシオ計算機株式会社
〒163 東京都新宿区西新宿2-6-1 TEL.03-3347-4811(代表)

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱いくださいますようお願い申しあげます。
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。
※各モードでその機能を使用した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード



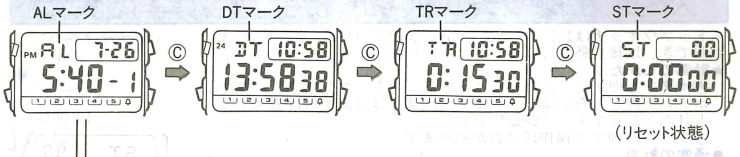
(曜日の見方)

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土

★12/24時間制表示切替え
Ⓐボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後)と24時間制表示(24が点灯)とが切り替わります。

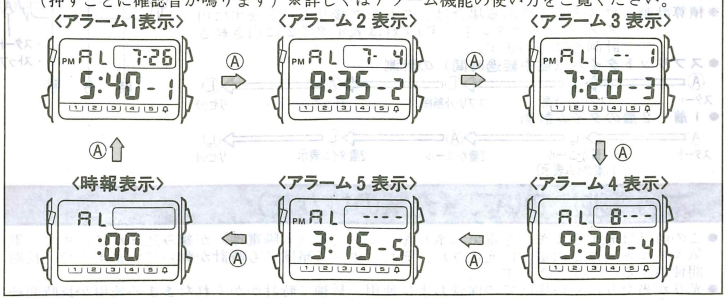
Ⓒ⇩ ⇧Ⓒ

アラームモード → デュアルタイムモード → タイマーモード → ストップウオッチモード



(リセット状態)

アラームモード(AL)ではⒶボタンを押すごとに⇨の順で表示が切り替わります。
(押すごとに確認音が鳴ります)※詳しくはアラーム機能の使い方をご覧ください。



製品仕様

水晶発信周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示内容：時・分・秒・午前/午後・月・日・曜日　オートカレンダー(2月28日制)
アラーム機能：時刻アラーム(1～5)　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間
　　：時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒
タイマー機能：計測単位＝秒　セット単位＝秒　電子ブザー＝10秒間
　　計測範囲＝24時間
　　計測機能＝通常計測・ロスタイム計測・オートリピート計測
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、デュアルタイムセット機能、タイマーセット機能
その他：自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS・LSI
2次電池：XR7926W(電池別途販売)
2次電池寿命：約7年

ご使用上の注意

■**防水性**　●**裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。**
・**20気圧(200M相当、表または裏に20BARまたは200Mと表示)および30気圧(300M相当、表または裏に30BARまたは300Mと表示)防水の場合。**水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビング・スキューバダイビング(アクアラング)などで使用できます。
・**10気圧防水(100M相当)〈表または裏に10BARまたは100Mと表示〉の場合。**水仕事や水泳・水上スキー・スキンダイビングなどにお使いいただけますが、専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
・**5気圧防水(50M相当)〈表または裏に5BARまたは50Mと表示〉の場合。**水仕事、水泳などでご使用になる水準です。スキンダイビング、高とび込み、ウインドサーフィンなどでのご使用はお避けください。
・BARまたはMと表示のないもの。洗顔や雨などの日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
●**裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。**防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付きの状態で、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
■**バンド**　バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
■**お手入れ**　ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。
■**温度**　直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ・進みが生じたり、止まったり、電池寿命が短くなることがあります。
■**ショック**　通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。
■**磁気**　家庭用電気製品(テレビなど)程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。
■**薬品類**　水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。
■**保管**　長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。
※万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

電池交換について

■**最初の電池**　工場出荷時に充電されていますので約12ヵ月間充電されなくても動きます。
■**消耗**　電池が消耗しますと「表示が見にくくなったり」「時刻の狂いが目立ったり」します。このときは早めに充電してください。
■**電池交換**　電池交換は必ずお買上げ店またはカシオサービスセンターにお申しつけください。2次電池は必ず当社指定の専用電池(XR7926W)と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

液晶パネルの交換について

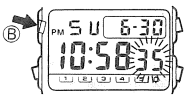
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

RE0613O115A

秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に１度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと“秒”が点滅します。



(2)時報に合わせて、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分くりあがって、00秒からスタートします。



※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



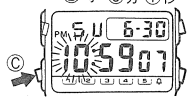
時刻・カレンダーの合わせ方

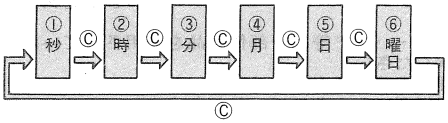
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑボタンを押すと“秒”が点滅します。



(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
※点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに１つずつ進みます。
※Ⓐボタンは押し続けると早送りができます。



Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（PM点灯）、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時やうう年の２月29日以外は修正不要です。
●時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まります。

アラームの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セットした時刻になると20秒間電子ブザーで知らせるアラームが５つあります。月・日・時・分を指定するとその月日のセット時刻に、時・分のみを指定すると毎日セット時刻に鳴ります。
なお、５つのアラームはいずれも同じ使い方です。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

〈アラームモード2表示〉

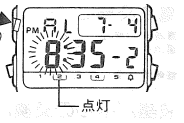


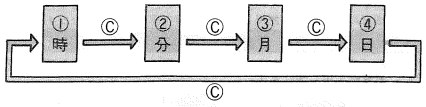
●セットのしかた
(1)アラームモードでⒶボタンを押して合わせたいアラーム番号（1～5）を表示させます。



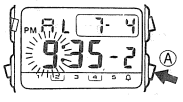
(2)Ⓑボタンを押すと「時」が点滅します。
※合わせたいアラーム番号のアラームONマーク（1～5）が点灯します。

(3)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。
※点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。

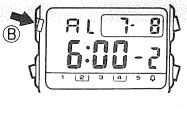




(4)点滅個所がⒶボタンを押すごとに１つずつ進みますのでセットします。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りができます。
※月・日を指定しないときは“－”または“－－”にします。
（「月日のセット」参照）
注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（PM）にご注意ください。
注）基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。



(5)セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押してセット完了です。



●アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まります。

●月日のセット
月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日がかわります。
月・日・時・分セット→指定月日の指定時刻に鳴る。
月・時・分のみセット→指定月の１ヵ月間、毎日指定時刻に鳴る。
日・時・分のみセット→月１回、指定日の指定時刻に鳴る。
時・分のみセット　→毎日指定時刻に鳴る。

〈時報表示〉



●アラーム・時報のＯＮ／ＯＦＦ
各アラーム表示（1～5）、時報表示のとき、Ⓛボタンを押すごとに各アラーム表示（１～５）のときはアラームONマーク（1～5）が、時報表示のときは時報ONマーク（🔔）が点灯・不点灯をくり返します。各マークとも点灯しているときがONで、電子ブザーが鳴ります。

●鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸのいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム
アラームモードでⒶボタンを１～２秒以上押し続けると、アラーム１～５が表示されているときはアラームの鳴り方で電子ブザーが鳴り、時報が表示されているときは時報の鳴り方で電子ブザーが鳴ります。

デュアルタイムの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは時刻表示（時刻・カレンダーモード）とは別に海外時刻などもう１つの時刻をセットできる機能です。
（秒は時刻表示と連動）

〈デュアルタイムモード〉

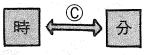


●12／24時間制表示の切替え
時刻表示とは別に切り替えができます。デュアルタイムモードのときⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
※12時間制表示のときは午後のみ“PM”、24時間制表示のときは“24”が点灯します。

●セットのしかた
(1)デュアルタイムモードのときⒷボタンを押すと「時」が点滅します。



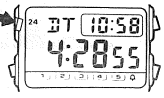
(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が右の順で移動します。
※点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。



(3)Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が１つずつ進みますので、Ⓒボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐボタンでセットします。
※Ⓐボタンを押し続けると早送りできます。



(4)セットが終わりましたら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。



●デュアルタイムセットモードで表示を点滅させたままにしておくと２～３分後自動的に点滅が止まります。

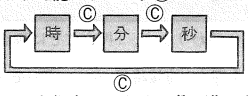
タイマーの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、タイマーモードにします。

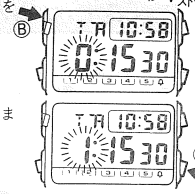
タイマーは秒単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子ブザーが鳴ります。

〈タイマーモード〉



●セットのしかた
(1)タイマーモードのときにⒷボタンを押すと「時」が点滅します。
(2)Ⓒボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。
※点滅個所がセット可能ですので、Ⓒボタンでセットしたい個所を選びます。





(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに１つずつ進みますのでセットします。
※Ⓐボタンは押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分・秒を合わせてください。
※セット時間を24時間にセットするときは表示を“0:00 00”にセットします。

(4)セットが終わったら、Ⓑボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



●計測の仕方
Ⓐボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を秒単位で表示します。
※押すごとに操作確認音が鳴ります。

●ロスタイムがある場合は
減算計測中、Ⓐボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

●リピート（繰り返し）計測
タイムアップ後（残り時間0）、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。
計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓐボタンを押して計測ストップ後、ⓁボタンをⓁ押します。

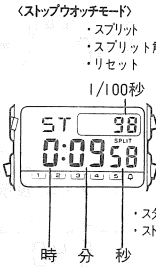
●鳴っている電子ブザーを止めるには
鳴っている電子ブザーを止めるにはⓁⒶⒸいずれかのボタンを押します。

●タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まり、タイマーモードの表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後自動的に０に戻って計測し続けます。

〈ストップウオッチモード〉



★計測のしかた
Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中Ⓛボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPLIT”表示）
Ⓐボタンは押すと操作確認音が鳴ります。

●通常の計測
Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測
Ⓐ スタート → Ⓛ スプリット計測 → Ⓛ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓛ リセット

●１着・２着のタイム計測
Ⓐ スタート → Ⓛ １着がゴール（１着タイム表示） → Ⓐ ２着がゴール → Ⓛ ２着タイム表示 → Ⓛ リセット

太陽電池について（充電のしかた）

●この時計は光エネルギーを電気エネルギーにかえる《太陽電池》が組み込まれています。電気エネルギーは２次電池に充電され、それによって暗闇でも時計が動いていますので、長期間使用することができます。
●光りが当たりにくい場所での保管および使用、長袖で時計がかくれたままの使用が長時間続きますと２次電池が消耗しきってしまい、充電されなくなることがあります。
●安定してご使用いただくために、下記の表を参考にして充電しながらお使いください。

★充電時間の目安

	１日動くのに必要な充電時間	１週間動くのに必要な充電時間	１ヵ月間動くのに必要な充電時間
直射日光下（100,000ルクス）	約３分	約16分	約1.2時間
日の当る窓際（20,000ルクス）	約11分	約1.3時間	約5.6時間
蛍光灯直下 *（5,000ルクス）	約52分	約６時間	約26時間
一般オフィス内（蛍光灯700ルクス）	約６時間		

※使用条件は１日当りライト１秒間点灯、電子ブザー20秒間使用した場合です。
（＊15Wまたは20W蛍光灯下20cm）
※２次電池で工場出荷時から約12ヵ月間充電されなくても動きます。
※表示が消えてしまった場合には、指定の２次電池（ＸＲ7926Ｗ）と交換してください。

充電時の注意

●充電の際、光源の条件によって時計本体が極端に高温になることがあります。以下のような高温下での充電はお避けください。
○炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上に放置。
○白熱ランプなどの発熱体に極端に近づけての放置。
○直射日光が長く当たったり、高温になる所への放置。